

1/25・26

第48回

沖縄市産業まつり

本市で生産・加工された物産等を展示・販売し、生産者の意欲の高揚と市産品に対する市民等の意識の啓発を図る「第48回沖縄市産業まつり」が、沖縄市体育館、沖縄市多目的運動場および周辺駐車場で開催されました。

会場には、新商品アワードで最高金賞を受賞したzazouのコザレトロアップルパイやBoneBrothFactoryOkinawaのボーンブロスのスパイスカレーなど市内の物産・工芸を中心に魅力あふれる選りすぐりの品が並びました。うちなー工芸の革細工作りの体験などのものづくり体験、SOONESSの身近な植物を使った手工芸品、屋台やキッチンカーが並ぶフードエリアなど、来場者は市内のまーさむん・すぐりむんを堪能しました。

50周年記念市民参加ステージではこども達のエイサーやダンスパフォーマンス、アーティストライブなど多彩な催しで、こどもから大人までまつりを楽しんでいました。



1/21 米沢市沖繩市小学生交流事業 報告会



▲雪遊びを楽しむ市内の児童たち

令和6年12月12日から15日までの日程で本市の代表児童8人が姉妹都市の山形県米沢市を訪れ、現地の小学生と交流を行いました。1月21日には、市役所で報告会が開催されました。

米沢市では、スキー体験や伝統工芸である笹野一刀彫の“お鷹ぼっぽ” 絵付けや米沢織の紅花染めなどを体験し、江戸時代に困窮した米沢藩の財政を再建した上杉鷹山さんについて学びました。

山内小学校の上地航貴さんは「一番心に残ったのは、米沢市民が尊敬する上杉鷹山です。これからは、鷹山のようにリーダーシップを発揮して頑張っていきたい」と話し、室川小学校の森田愛さんは「気候の違いや米沢の方言を学んだことを友達にも伝えたい。また米沢に行きたい」と学んだことや感想を述べました。

米沢市は山形県の最南端に位置する人口約7万5千人の都市で、江戸時代に上杉家（米沢藩）の城下町として栄えた街です。平成元年に両市の小学生交流が始まり、現在は、5年生の本市代表児童が冬に米沢市を訪問し、6年生の夏に沖縄市で米沢市の児童を迎えています。



▲市役所での報告会



▲上杉鷹山公の銅像前にて



▲笹野一刀彫“お鷹ぼっぽ”の絵付け体験



▲米沢織の“紅花染め”体験

1/23 沖縄市東海市中学生交流報告会・解団式

本市と姉妹都市の愛知県東海市の中学生が相互訪問することで、両市の自然、文化、歴史、産業について学習し、相互理解と広い視野を育てることを目的に「令和6年度東海市沖縄市中学生交流事業」が行われました。夏は東海市の中学生が沖縄市へ、冬は沖縄市の中学生が東海市へ訪問し交流しています。

冬季交流では11月29日から12月2日までの4日間、市内7校の代表生徒14人が東海市を訪れ、東海市の特産品や産業、歴史文化などの研修や中学校間交流を行い、充実した4日間となりました。1月23日には市役所で報告会が行われました。

中学交流事業は、昭和62年から実施している事業で今回で36回目となりました。



1/21 野球を通して体を動かす楽しさを

NPO法人野球未来、Ryukyuの理事長で元プロ野球選手の大野倫さんと佐久本昌広さんが、美里第二公園でみらいの森保育園の5歳児クラスの園児に野球教室を開催しました。

大野さんは野球を普及させるため、投球練習やキャッチボール、バッティング練習など、楽しみながら野球の魅力を伝えています。

園児たちは相手のことを考えて優しいボールを投げたり、チーム戦のストラックアウトでは最後まで諦めずに勝負に向かうなど、心の成長も体験しました。

大野さんは、「野球を通して、身体を動かすスポーツの楽しさを知ってもらいたい。野球で培われるチームワークや相手のことを考えるコミュニケーションは、社会に出てからも必要な経験だ」と熱く語りました。



1/22 暮らしの中にある「お宝」発表会

日頃の暮らしの中で何気なく行われている住民同士の気掛け合いや支えあい、見守りを行っている個人・団体をお宝として認定し表彰する「令和6年度沖縄市暮らしの中のお宝発表会」が、沖縄市民小劇場あしびなーで行われました。

個人の部では4人、団体の部では4団体が表彰されました。受賞したカワバタハウスの川畑文夫さんは「見守ってきた地域のこどもたちが成長していく姿を見るとうれしく思います。見守り、見守られていく関係をこれからも続けていきたい」と話しました。

個人受賞

- ◆ 又吉 清子
- ◆ 與那嶺 ノリ子
- ◆ 普久原 慶子
- ◆ 奥間 政一

団体受賞

- ◆ トレーニーズ
- ◆ カワバタハウス
- ◆ 山内老友会
- ◆ 久保田青年会



1/25 長く従事し職の向上発展に寄与

長く同一職種に従事し、技能の錬磨及び後進の育成等その職種の向上発展に寄与した優秀な技能者の功労を称え、社会的及び経済的地位の向上を図ることを目的とした「令和6年度沖縄市技能功労者表彰式」が、レフ沖縄アリーナbyベッセルホテルの1階ミーティングラウンジで行われ、4人が表彰されました。

被表彰者(職種・従事年数)

※敬称略・順不同

- ◆ 兼城 聡 (配管工・従事年数32年3ヶ月)
- ◆ 山川 博之 (調理師・従事年数26年3ヶ月)
- ◆ 森山 優治 (広告美術技能士・従事年数47年7ヶ月)
- ◆ 山内 昌政 (土木技能工・従事年数51年4ヶ月)



1/14～17 災害への備えを 防災展示会

毎年1月17日は「災害とボランティアの日」と定められています。また、15日から21日は「災害とボランティア週間」となっており、14日から17日まで市役所では防災展示会が行われました。

災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動についての認識を深め、災害への備え等の充実と強化を図るために行われており、防災パネルの展示やパンフレットの配布、災害用トイレの展示などが行われました。



▲災害用トイレと避難所用パーテーション



▲ポータブル水再生プラント[WOTA BOX]と仮設シャワー

1/14 消火活動支援に対する感謝状贈呈

沖縄市建設業者会の消火活動支援に対する感謝状贈呈式が市役所にて行われました。令和6年8月に市室川の材木店にて発生した火災において、協力出動要請に迅速に対応し、火災の鎮火に尽力したとして、沖縄市建設業者会の内間安盛会長へ山内副市長から感謝状が手渡されました。

今回、平成21年に沖縄市建設業者会と締結した「消防活動資機材借り上げ協定」に基づき出動要請が行われ、有限会社内盛産業が資機材手配を行いました。

内間会長は「今回の感謝状贈呈を励みに、今後もできる限り協力していきたい」と話しました。



1/16 若年妊産婦の支援等に尽力

第58回沖縄県母子保健大会が浦添市のアイム・ユニバースでたこホールで行われ、沖縄市役所に勤務する保健師の上里恵里子さんが母子保健行政の推進に貢献したとして県知事感謝表彰を受賞しました。

上里さんは、平成6年から保健師として市役所で勤務をはじめ、母子保健、健康づくりや高齢者福祉等の地域の健康課題に取り組み、公衆衛生に尽力しました。

また、県内で初めての行政主導の若年妊産婦の居場所の設立や、子育て世代包括支援センターの設置など、沖縄県の妊産婦の支援体制のモデルとして母子保健活動の向上に貢献しました。



1/19 小学生ハイビスカス駅伝大会

青少年の健全育成及び体力向上を目的とした令和6年度小学生ハイビスカス駅伝大会が市陸上競技場で開催されました。

県内各地の陸上クラブ、スポーツ少年団等22クラブ、530人が出場し、低学年の部(1、2、3年生)に33チーム、高学年の部(4、5、6年生)に34チーム、オープンレース(補員選手)に分かれて競い合いました。今大会で市内チームの低学年男女混合では「あわせJRC」と高学年女子では「沖縄アンテロープ陸上クラブB」が共に準優勝を収めました。



1/19 「RB大宮アルディージャ」キャンプ歓迎式

埼玉県さいたま市をホームタウンとするプロサッカークラブ「RB大宮アルディージャ」の沖縄キャンプ歓迎セレモニーが、タピック県総ひやごんスタジアムで行われました。

クラブは、2024シーズンJ3リーグで開幕から好調を維持して優勝。2025シーズンはJ2リーグでプレーします。

セレモニーでは、市や市議会、沖縄県などからRB大宮アルディージャへ花束や記念品が贈られ、選手を代表して藤井一志選手は「チームのJ1昇格に向けて、日々のトレーニングに励んでいきたい」と意気込みを述べました。

キャンプは2月1日まで実施され、公開練習や練習試合が行われました。



50th おきなわ市トピックス

1/19 3ぴーす58地域交流成果発表会

こどもたちの学習支援や食糧支援などを行う一般社団法人3ぴーす58(市内、宮城杏奈代表)の地域交流成果発表会が市南桃原のイベント広場で行われました。

会場内には活動の写真が展示され、団体へ支援や協力を続ける個人や団体などに感謝状が贈呈されました。

中の町子どもエイサーなど3団体によるこどもエイサーや琉舞の披露などが行われ、あいにくの雨でしたが、元気な子どもたちで賑わいました。また、会場内では申し込みのあった世帯へ食糧支援を行うフードパントリーも行われました。



▲司会を担うこども達と宮城代表

1/25 「コザ」の時代を考える



コザ市と美里村の合併により沖縄市が誕生してから50周年を迎え、その歴史や文化を振り返り、新たな都市像を模索することを目的とした沖縄市市制施行50周年記念シンポジウム『「コザ」の時代を考える』が、レフ沖縄アリーナbyベッセルホテルズで開催されました。

パネリストは琉球大学名誉教授の高良倉吉氏、版画家の名嘉睦稔氏、ミュージシャンの照屋林賢氏、沖縄県立芸術大学教授の久万田晋氏、うちな〜断家の藤木志いさ氏。コザ市と美里村のエイサーや音楽などに触れ、国際化時代に沖縄市の文化を発展させるためには何が必要かなどについて意見を交わし、将来の沖縄市を展望しました。



1/27 平和への思いを未来へ繋ぐ

沖縄市平和大使の研修報告会が、市役所地下2階大ホールで行われました。市内の中学生17人、社会人2人が、平和への思いを継承する担い手として約9か月間活動してきました。

大使を代表して、岸本佳玲さんと穴井力丸さんが座学や市外・県外研修、県外の中学校との平和交流等で学んだ成果を発表しました。岸本さんは「世界で起こっている戦争を自分事として考え、世の中を変えるために自信を持って行動していこうと思いました」と発表。穴井さんは「戦争の惨禍を二度と繰り返さないために、今後も歴代平和大使として学び続け、平和の大切さや尊さを発信していきたいです」と話しました。



1/29 琉球ゴールデンキングスU15準優勝

琉球ゴールデンキングスU15の選手らが市役所を訪れ、1月4日から8日まで東京都調布市の武蔵野の森総合スポーツプラザで開催された「京王Jr.ウインターカップ2024-25」に出場し、準優勝したことを花城市長へ報告しました。

キングスU15は、8日の男子決勝でRIZINGS徳島と対戦し、接戦の末、65-67で敗れ、準優勝となりました。

宮里俊佑キャプテンは「3月にあるB.リーグU15チャンピオンシップでは必ず優勝し、応援してくれる方に恩返しをしてシーズンを終えたい」と意気込みを語りました。



1/30 健康・食育おきなわシティ21案への答申

令和6年12月に沖縄市から諮問した「健康・食育おきなわシティ21」計画案に対する答申が行われました。

同計画案は、市民の健康と食育のための計画として策定を進めており、諮問を受けた沖縄市健康食育推進会議において、慎重に審議を重ね、同会議の中村幸志会長(琉球大学大学院医学研究科教授)からの答申書手交に至りました。

答申の総括的意見を説明した中村会長は、「答申の趣旨を十分に踏まえていただき、今後の健康づくり、食育推進施策のさらなる推進に取り組まれますよう、よろしくお願いします」と話しました。



1/31 文化財を守れ! 防火消防訓練

文化財を火災、地震その他の災害から守るため、1月26日は文化財防火デーと定められており、全国的に文化財防火運動が展開されています。沖縄こどもの国園内にある国登録有形文化財ふるさと園では市消防本部主催の文化財防火消防訓練が行われました。

訓練には沖縄こどもの国の職員が参加して消防職員の指導のもと初期消火活動や消防へ連絡や園内放送、また、来園者誘導などの訓練が行われました。



2/4 FC琉球 新シーズン開始

FC琉球OKINAWAの柳澤大輔代表取締役社長らが市役所を訪れ、2月15日からスタートとする新シーズンの目標と抱負を語りました。

平川忠亮監督は「J2昇格を目標に一步でも近づくためにFC琉球の特有の攻撃的サッカーで一つでも多くの勝利を目指していきたい」と抱負を語り、「昨年から半分の14人の選手が加わり平均年齢が25歳と若返りました」と報告しました。

花城市長は「これからも観覧し応援に行きます。楽しみにしています」と激励しました。



2/5 私のじまん料理展

沖縄市農漁村生活研究会主催の「私のじまん料理展」が開催され、料理の展示と試食会が市役所の市民ホールで行われました。

同会は、地産地消に力を入れ、手作り味噌など料理研修会や産業まつりにも出展。会員が家族らの健康を考えて作った手料理を市民にも伝えようと郷土料理やお祝いの料理など55品の料理を展示し、作り方など話しながら試食をしました。与那嶺奈美子会長は、「昭和49年に発足して51回目の開催。地産地消や健康に気をつけたレシピを教え合い、子から孫の世代へと受け継いでいる」と話しました。



2/5 踊りの輪は人の輪「中部はひとつ」

民謡を通した中部各市町村の健康と生きがいづくりを目的とした「第22回中部老連民謡まつり・第10回中頭地区民謡連友好祭」が2月5日に沖縄市体育館で開催されました。

前半では90歳以上の民謡愛好者への健康長寿賞贈呈式が行われ、沖縄市からは7人が表彰されました。

民謡団体発表では、中部地区の老人クラブ連合会や中頭民謡連など15団体の総勢873人が華やかな衣装で民謡を披露。沖縄市からは、沖縄市老人クラブ連合会の130人が「人生前向きに」の演目を披露しました。



～寄付・寄贈等～

皆さまのご厚意に感謝申し上げます。

寄付金等贈呈式を行った皆さまをご紹介します。いただいた寄付金等は、有効活用いたします。

1/15 株式会社沖縄計測 (代表取締役 玉城 幸人)

こどもの居場所支援事業へ 寄付金 50万円
沖縄市育英会へ 寄付金 50万円



1/23 コザパイロットクラブ (会長 伊波 静江)

沖縄市社会福祉協議会へ 寄付金 10万円
沖縄こどもの国へ 寄付金 10万円



2/4 株式会社エミシア (代表取締役 山田 晋)

義援金 10万円



令和7年1月24日 大雨被害義援金

被害にあわれた皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。